シラバス参照

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**（共通）**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT1761		
科目名	韓国語Ⅰ		
担当教員	田　昌禾		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火５		
講義室	1314	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 A1 グローバル感覚-5% A2 異文化適応-5% D1 市民的要素と参加-10% K1 ライティングコミュニケーション-30% K2 オーラルコミュニケーション-50%		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 ２進行期～３発展期		
科目概要・キーワード	初めて韓国語を学習する学生を対象とし、ハングルの読み書きができることを到達目標とします。授業では文字の読み、書き、聞き取り、会話表現の練習等を通じて、基礎的な語学力修得を目指します。 （キーワード）ハングル、韓国文化、韓国社会 ※授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。		
授業の趣旨	■副題 日常生活で必要とする韓国語の基礎知識を学びます。 ■授業の目的 ①初級レベルの韓国語能力を高めるために、学んだ韓国語を使って、旅の小さな思い出になったり、韓国の社会と文化について理解を深めたりするなど基本的なコミュニケーション能力を身につける。 ②基本的なコミュニケーション能力を高めるために、聞く・話す・読む・書くの４つの技能について何度も繰りしながら修得する。 ③韓国に関する知識を養うために、韓国語の習得と同時に韓国の文化や社会について理解する。 ■授業のポイント 外国語はインプット・アウトプットを何度も繰り返すことがとても大事です。毎日予習・復習を行うことで基本的なコミュニケーションが出来るようにします。		
総合到達目標	■グローバルパーソンとしてコミュニケーションできる能力を高めるために、韓国語の基礎知識を習得する。また、文章及び口頭で自らの考えを的確に表現し、日常生活で必要な基本的な		

<table>
<tr><td></td><td>コミュニケーション能力を身につける。
・ハングルを完全に読み書きすることができる。（第2回～5回）
・基本的な発音体系が理解でき初声、中声、終声を正確に発音することができる。（第6回）
・韓国語の基本的な構造、時制の表現方法、文章の連結方法を理解し、正確に使うことができる。（第2回～14回）
・挨拶、自己紹介、食事の注文、買い物、道の尋ね方、交通機関の利用、電話等、日常生活で必要とする簡単な表現ができる。（第10回～14回）
・韓国語の習得と同時に韓国の文化や社会について理解できる。（第2回～14回）</td></tr>
<tr><td>成績評価方法</td><td>■授業理解確認課題2回（20%）:適用ルーブリック A1・A2・D1
（評価の観点）当該単元の授業理解度を評価します。
（フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。
■中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評（30%）:適用ルーブリック K1・K2
（評価の観点）韓国語授業内容の理解度を評価します。
（フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。
■授業総括・到達度確認・レポート講評1回（50%）:適用ルーブリック K1・K2
（評価の観点）日常生活で必要とする簡単な表現が韓国語でコミュニケーションできるかを評価します。
（フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。</td></tr>
<tr><td>履修条件</td><td>韓国語学習経験無し／ほぼ無しの学生（授業中の私語と携帯使用禁止）</td></tr>
<tr><td>履修上の注意点</td><td>文法の暗記や文字を見てわかるだけではコミュニケーションができません。授業で学んだことをインプット・アウトプットを何度も繰り返しながら、授業外でも積極的に使ってみましょう。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td>
<table>
<tr><th>回</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>①授業テーマ
ガイダンス、あいさつ
②授業概要
本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する。また簡単なあいさつの言葉を覚える(E1)。
③予習（60分)
シラバスを確認する。
④復習（60分)
『韓国語Ⅰ』に関する授業の内容、目的、到達目標を確認する。また、授業で学んだあいさつの言葉を復習する。
※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>①授業テーマ
基本母音
②授業概要
基本母音について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1)。
③予習（60分)
基本母音について読み書きの予習をする。
④復習（60分)
授業で学んだ基本母音の読み書きの復習をする。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>①授業テーマ
基本子音
②授業概要
基本子音について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K2)。
③予習（60分)
基本子音について読み書きの予習をする。
④復習（60分)
授業で学んだ基本子音の読み書きの復習をする。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>①授業テーマ
複合母音
②授業概要
複合母音について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1、K2)。
③予習（60分)
複合母音について読み書きの予習をする。
④復習（60分)
授業で学んだ複合母音の読み書きの復習をする。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

5	①授業テーマ 激音・濃音、バッチム・文字の組み合わせ ②授業概要 激音・濃音、バッチム・文字の組み合わせについて学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、D1、K2)。 ③予習（60分) 激音・濃音、バッチム・文字の組み合わせについて読み書きの予習をする。 ④復習（60分) 授業で学んだ激音・濃音、バッチム・文字の組み合わせの読み書きの復習をする。
6	①授業テーマ 発音の変化 ②授業概要 発音の変化（連音化・鼻音化・濃音化・激音化）について説明し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、D1)。 ③予習（60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、発音の変化 について予習をする。 ④復習（60分) 授業で学んだ発音の変化について練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
7	①授業テーマ 『韓国語1』中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評 ②授業概要 今まで授業で学んだことを授業内の中間テスト、あるいはリアクションペーパーを通じて把握する(A1、D1、E1、K2)。 ③予習（60分) 今まで授業で学んだことを復習する。 ④復習（60分) 授業内中間テストで理解しきれていなかった部分を再確認する。
8	①授業テーマ K-POP で学ぶ韓国語 ②授業概要 K-POP で学ぶ韓国語 (ハングル読み練習）について学習し、韓国語で歌えるようにする(K1、K2)。 ③予習（60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともにハングル読みの練習をする。 ④復習（60分) 授業で学んだハングル読みについて練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
9	①授業テーマ 数詞（漢）数詞（固有） ②授業概要 数詞（漢）数詞（固有）について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1)。 ③予習（60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに数詞（漢）数詞（固有）の練習をする。 ④復習（60分) 授業で学んだ数詞（漢）数詞（固有）について練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
10	①授業テーマ 丁寧形 ②授業概要 「…です（か）、…ます（か）」丁寧形について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習（60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
11	①授業テーマ 会話形 ②授業概要 「…です（か）、…ます（か）」会話形について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、D1)。 ③予習（60分)

		前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	12	①授業テーマ 否定文 ②授業概要 否定文の表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、D1、K1)。 ③予習（60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	13	①授業テーマ 主な助詞（その１） ②授業概要 主な助詞（その１）について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、D1、K2)。 ③予習（60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	14	①授業テーマ 主な助詞（その２） ②授業概要 主な助詞（その２）について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、D1、K1)。 ③予習（60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	15	①授業テーマ 『韓国語1』授業総括・到達度確認・レポート講評 ②授業概要 『韓国語1』の総まとめについて学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(E1)。 ③予習（60分) 今までの授業を振り返り、理解してない部分をメモする。 ④復習（60分) 今まで授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
関連科目		韓国語Ⅱ（RMGT1762）
教科書		教科書は特に使用しません。プリントを配布します。
参考書・参考ＵＲＬ		授業中に適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー		■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。
研究比率		

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.